

日本の進路・大阪版

なみはや

月刊『日本の進路』号外・大阪版 第14号

2023年1月発行（毎月1回、1日発行）

発行人 加藤毅 1部100円（会費に含まれます）

発行所 自主・平和・民主のための広範な国民連合

〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

大阪連絡先〒565-0853 吹田市春日4-2-1-219

電話 090-8538-4446

mail shibuyakokuminrengo@yahoo.co.jp

東アジアの平和と安定のための自主外交を！

運営委員のみなさま、賛同委員のみなさま、連携・共同して活動しているみなさま、ご指導いただいているみなさま、わたくしたちは新年の決意新たに2023年を迎えました。

去年は、日中国交正常化50周年という我が国の国益・外交にとっても節目の年でした。政府の取り組みがほとんどなされない中でしたが、各地で日中友好を願う記念行事が様々な形で開催されました。国民連合でも、シンポジウムや講演会など広く協力して開催しアジアの平和と安定を訴えてまいりました。

世界の平和と安定を願う人々がこのことに貢献する重要な役割を再認識した一年でもありました。

一方、NATOとロシアの緊張関係は、去年の2月ついにロシアのウクライナ軍事進攻という事態が勃発しウクライナ戦争は今だ停戦の兆しささえ見えません。アメリカを先頭に我が国の西側諸国のウクライナへの武器供与や軍事支援はますますエスカレートし、ウクライナ国民の被害は甚大です。またロシア国民の被害も尋常ではありません。長引く戦時体制は世界の多くの国々の経済を直撃し人々の生活を苦しめています。

そんな中、岸田政権は去年の12月16日、外交・防衛基本方針という「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を閣議決定しました。これらは中国や北朝鮮を「敵国」とみなし、基地などを先制攻撃できるようにする、というわが国政府の外交・防衛政策の歴史的な大転換です。明らかに憲法違反で、しかも先制攻撃は国際法違反ともなりかねません。我が国の今後にかかわる重大な決定が国会や国民を完全に無視して強行しました。

当然のことながら軍備強化では「抑止力」にはならず、平和を確保することはできません。際限なき軍拡はアメリカからの大量の武器購入を意味し、私たちは軍事費負担をしいられることとなります。

人々の生活苦や貧困がさらに広がっています。

イギリスでは昨年からの医療・交通・教育などで働く何万もの労働者が労働条件、年金や賃金アップを要求しストライキを行っています。フランスでもクリスマスをはさんで、国鉄のストライキが決行されています。我が国日本でも安倍国葬反対のデモや軍備増強反対のデモなど、まだ部分的ではありますが、抗議行動が起こっています。

本年は人々の暮らしと命に寄り添い、より幅広い各層への広がりと共に共同した取り組みができますよう、わたくしたちも奮闘したいと思っております。



自主・平和・民主のための広範な国民連合・大阪・事務局



《対米自主・アジアの平和と共生》

大胆に連帯し、方針を広げよう



広範な国民連合第25回全国総会に参加して
(国民連合・大阪 事務局 長谷川由胡)



広範な国民連合は2022年11月20日(日曜日)、第25回全国総会を川崎市生涯学習プラザで開催しました。以下大阪から2名が参加しました。以下感想を中心に報告します。(詳しい討論内容等は日本の進路や websie で)

ウクライナでの”アメリカの代理戦争”ともいえる深刻な状況がまだ続き、国民の被害感情と不安を煽り、急速に攻撃的な軍備拡張に大きく舵を切り始めた自公政権に対する危機意識と怒りが全国から集まった(リモート参加含む)参加者の意気込みが奮い立つようでした。

「各界各層・団体は意見と立場の違いを乗り越えて共同した力で《対米自主・アジアの平和と共生》を一致点に、対米従属政治を打ち破っていく意思一致を築くことが今総会の重要課題である」とした山本正治事務局長の提案に、その通りだ!!と後半からの提案や意見をききながら確信しました。

台湾有事の策動を阻止する闘いにたいする提案は、羽場久美子氏や川村範行氏、食料安全保障の面から鈴木宣弘(大学教授)、

平和の問題は、服部良一社民党幹事長、伊波洋一参議院議員、花谷史郎石垣市議、東アジア共同体研究所琉球・沖縄センターの青年チームの神谷美由希氏他、また全国から参加したの方々の国民の切実な生活実態に即した熱心な意見交換がなされ、総会議案と女性2人を含む新任代表世話人など役員提案を満場一致で採択されました。

私はこのところ、国会では対米従属政治のもと自公の一線を超えた策動はもとよりです



が、立憲をはじめとする野党政党もなかなか役割を發揮できずにいて、「忸怩」たる気持ちになっていましたが、ここに集まった知識人、政党人、議員、労働運動、農業食料問題、貧困問題とあらゆる社会に蔓延する諸問題に心を寄せ毎日を生きている人々が「心を決めてきちんと生きて活動をして」いけば、そして国民連合の方針を広げていけばなんとかなるのでは、と改めて思いました。



長谷川さん

国民連合・大阪の運営委員・賛同人のみな様、まだまだそこまででないみな様、次の全国総会まで2年間、大いに論陣を張って、ここ大阪の地

において地道に、そして大胆に連帯して道を踏み固めて行きましょう!!

子々孫々・・・の安寧を願って。

各界からの新春メッセージ

新年あけましておめでとうございます。

昨年の日中国交正常化50周年という節目の年に引き続き、本年は日中平和友好条約締結45周年に当たります。あらためて友好親善の大切さに思いを馳せ、変わる事のない平和の実現を希求するまたとない機会です。

良好な交流や親善は一朝一夕に成るものではなく、先人たちの長年にわたる努力の積重ねの上に成り立つものであり、個人と個人の対話と友情、交流の礎があってはじめて実現するものだと思います。



民間の日中友好活動を担う私たちにとって、長引くコロナ禍や国際情勢の不安定化などの影響から現状は決して望ましい環境にあるとはいえませんが、小さくとも日々の活動に着実に取り組むことが日本と中国の平和と繁栄の大きな花を咲かせる礎になると信じ、本年も多様な活動に取り組んでまいります。

皆様の暮らしが健やかで実り多き年となりますように、そして地域と世界が発展と繁栄に満ちたものになることを心からお祈りいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人大阪府日本中国友好協会
事務局長 岩田教之

昨年2022年は日中国交正常化50周年で、各地で様々な記念行事が開催されました。また、今年2023年は「日中平和友好条約」締結45周年の年です。現在の日中関係は国交正常化以降、最悪ともいえる状態にあります。我々は将来どのように関係改善を図ればよいのでしょうか。改めて「平和友好条約」を見ますと、

第一条には

両国は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に、両国間の恒久的な平和友好関係を発展させるものとする。

両国は、相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する。

第三条には

両国は、両国間の経済関係及び文化関係の一層の発展並びに両国民の交流の促進のために努力する。

と定められていますが、現在、両国はこの条約に基づいた行動ができているのでしょうか。

条約で「日中両国は仲良くしなければならない」と定められているわけですから、お互いにこれを遵守しなければなりません。今年は条約締結の初心に立ち戻り、市民レベルから関係改善に向けた行動を進めましょう。



一般社団法人日中経済貿易センター
副理事長 池田稔

新年あけましておめでとうございます。

朝鮮総連大阪府本部を代表して、心から連帯のご挨拶を送ります。

昨年は米日「韓」の反動勢力による戦争挑発行為により、朝鮮半島情勢はこれまでにない緊張激化を余儀なくされました。

朝鮮民主主義人民共和国はこれらの戦争挑発行為に断固とした意思と態度を改めて宣明しました。

朝鮮半島の自主的な平和統一への課題がよりいっそう鮮明になった昨年の情勢をふまえ、私たちは、さらに原則的な立場をつらぬき、根本問題を解決してゆかなければなりません。

とりわけ東アジアの恒久的な平和の実現は朝米の平和協定締結と過去清算にもとづく朝日国交正常化が不可欠であり、新しい時代の到来に合致する各国間の関係改善が喫緊の課題であると考えます。

過去の歴史を隠蔽し、歴史修正主義へと突き進む日本政府の態度はこれまで積み重ねてきた東アジアの平和をおびやかし、朝鮮学校への露骨な差別をあおり、私たち日朝朝鮮人への迫害を強めています。このようなことは決して許されるものではありません。

私たちは本年も日本の多くの皆様の変わらぬご支援、ご協力を期待するとともに、朝日関係改善と差別のない社会の実現に向けた闘いにおいて皆様と連帯してゆく所存です。

皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたします。

ともに頑張りましょう。



在日本朝鮮人総聯合会
大阪府本部 委員長 夫永旭



「なみはや」読者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年5月、韓国では尹錫悦政権が発足しました。尹政権発足後、朝鮮半島では韓米合同軍事演習が再開・強化され、軍事緊張は高まりました。

10月末には、尹政権の対応の不備から158名の尊い命が奪われるという梨泰院惨事が発生、被害者遺族から「尹錫悦大統領の誠実な謝罪」が要求されるとともに、多くの民衆が「尹錫悦政権退陣」を訴えるキャンドル集会に参加しています。

2023年は朝鮮戦争休戦協定締結から70周年を迎えます。2023年を休戦協定70周年から平和協定締結元年にする運動を推進して、朝鮮半島及び東アジアの平和を実現しましょう。

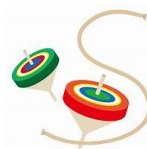
岸田政権はいわゆる「安保関連3文章」を閣議決定し、日本を「戦争ができる国家」へと進めようとしています。韓日民衆連帯運動の力でこれを阻止しましょう。

朝鮮半島の平和と日本の平和は表裏一体です。

韓統連大阪本部は、今年も皆さんと連帯しながら闘っていきます。

よろしくお祈りいたします。

韓統連大阪本部事務局長 崔誠一



新年明けましておめでとうございます。

私たち関生支部に対する権力弾圧では、憲法に基づいた労働組合活動が次々と刑事事件にされました。憲法も労組法も知らない権力者が「これは犯罪だ」と言ってやり込んでしまう。そして、問題意識を持っていない大半の市民も権力側の発表を鵜呑みにして大きな問題にならない。こうした横暴を許しては、ますます日本は悲惨な社会になってしまいます。

また、日本では、これだけ労働条件が悪化し、生活が苦しくなっているにもかかわらず、それを改善するための要求を掲げてストライキを闘う労働組合はほとんどありません。しかし、目を世界に向ければ多くの労働者・労働組合がストライキに立ち上がっています。本来であれば日本の労働組合こそ労働者の生活改善を掲げてストライキに立ち上がるべき時なのです。

今年、私たちは弾圧粉砕に向けて一層旺盛に闘いを展開します。そして、生コン業界を正常化するために政策運動を推し進め、労働者のあるべき賃金、生活権を勝ち取っていく決意です。戦争準備を推し進める岸田政権を打ち倒し、労働者が生き生きと働くことができる社会を実現するためにともに奮闘しましょう。

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
執行委員長 湯川裕司



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、2月に突如としてロシアがウクライナに侵略、それに乗じて岸田内閣は国民の不安を煽り敵基地攻撃と防衛費倍増を決定。この10年の金融政策の帰結としての円安と物価高で、国民生活は困窮しています。私たちの生活を守るこそ、本当の安全保障です。

そもそも、我が国には多数の原発があり、またGDPの2倍以上の借金があり、戦争などできません。更に、国家の中枢がカルト宗教に汚染されており戦争以前の問題です。

今年こそ、現実に即したまっとうな政治を取り戻すべく、国会で力を尽くしてまいります。

衆議院議員 桜井周

2023年は世界戦争を阻止する大事な1年になります。

2022年、日本を戦争当事国にしていく動きが進みました。ウクライナ侵略が始まったとき、どの覇権主義にも与しない立場で「ロシア非難決議」にれいわ新選組は唯一反対し、大きな誤解と批判も受けました。でも、戦争協力しないために、今、スジを通さなければいけません。

昨年12月、NHK日曜討論で、全国の有権者に次のように訴えました。反響が広がったのは希望です。

「いま岸田政権が進める防衛費の増額も反撃能力の保有も、国民を守るためではありません。アメリカのために日本が集団的自衛権の行使をできるようにするためのものです。中国との戦争を最前線でやらされるものです。」

戦争になって殺されるのは自衛隊員であり、あなたです。先の戦争で310万人が亡くなり、兵士の大半は餓死しました。儲かるのは権力者と資本家だけ。でも戦争は止められるんです。自国民を飢えさせない経済政策、そして徹底した平和外交。これが実現できる政権を誕生させるべく、有権者の皆さんには立ち上がっていただきたい。」

みなさん、一緒にがんばりましょう。

れいわ新選組 衆議院議員 大石あきこ





卯年、跳躍の年に

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。大阪府議会議員として、健康福祉常任委員会の委員を務めさせていただき、府民の健康増進と新型コロナウイルス感染症対策に努めてまいりました。

本年は卯年です。うさぎはその跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。何かに新しく挑戦するのに最適な年とされていますので、是非、新しいことに挑戦してみたいかがでし

ようか。

私も今の停滞する政治を変革するために挑戦する一年にしたいと思います。結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます

大阪府議会議員 山田けんた

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年も新型コロナ禍が続き、世界では戦争、国内でも大きな事件が相次ぎました。その中で打ち出された防衛費増。敵基地攻撃能力にまで踏み込み、際限のない暴力につながるの

は明らかです。物価高でも国民生活に心を配らない政府のもと、とくに弱い立場の人たちのことが気に病まれてなりません。私も大阪府議会において3年余り、地域で相次いだ地震や台風被害への対応、そして新型コロナ禍対策に注力してまいりました。地球環境問題や子育て・教育等の課題も山積みです。貴会の皆様と連帯してこれらの問題に取り組むべく、本年の統一地方選挙に向けた準備にも邁進しております。皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



大阪府議会議員 野々上愛



明けましておめでとうございます。

コロナの波が来るたびに、高齢者やその家族、介護従事者から「入院したいのに入院できない」「入院調整の対応はどうなっているのか」「介護サービスはどうするのか」「どうやって生活するのか」とのご相談を多く受け、議会でも取りあげてきました。市民の声、日々の暮らしを支える現場の声を議会に届け、市政に反映させることに尽力する毎日です。

今年は統一地方選挙もあります。これからも高齢者・障がい者・子ども・支援を必要とする人の一つひとつの相談から、仕組みや地域の課題を明らかにし「何が足りないのか」「どうすればいいのか」を皆さんと一緒に考え、行動していきます。

大阪市議会議員 武直樹

明けましておめでとうございます。

私たちにとって良い政治とは弱者に優しい政治です。世界平和をリードする政治です。今日本の教育費は先進国中最低水準です。介護はお手本にしてきたドイツと比べて明らかに劣っています。医療も同様です。それでも軍事費だけは世界第3位になろうとしています。大阪では教育・医療・福祉を切り捨てながら、カジノというバブル産業に府政の舵が取られようとしています。カジノは「買い手よし、売り手よし、世間よし」の大阪の伝統文化を崩壊させます。

平和で子どもも高齢者も安心して暮らせる社会に向け、今こそ広範な政治勢力の結集をめざしましょう。私も9月には東大阪の議席を守るため7選目の選挙をたたかいます。

東大阪市議会議員 松平要



新年おめでとうございます。2022年は、将来の歴史家が「歴史の転換点」として語る1年になることでしょう。ウクライナ戦争、元総理の銃殺、カルトと政治の癒着の暴露、そして敵基地攻撃能力の容認。日本でも軍靴の足音がすぐそこに聞こえてきました。宏池会の総理がそれを引っ張り、「立憲」を自負する政党がそれを真っ向から否定できないサマには、絶望すら感じますが、諦めるわけにはいきません。歴史に学び、平和を希求する市民が、今こそ力を合わせる時です。2023年は国政選挙のない年になると言われていますが、政治の土台を作る統一地方選の年です。地域から草の根で平和の声を発していこうではありませんか。私も共に頑張ります。



堺市議会議員 洸上猛志



わが国は苛烈な戦争への猛省をなかつたことにして、際限のない軍拡競争に足を踏み出しました。

しかし今、国家の要人の為すべきことは、国民の不安を煽り米国の無心のまま薬品や武器を買い付けることではなく、「外交努力」です。

他の先進国と違い日本はすでに1,029兆円・GDPの2倍の借金があります。若い人たちが夢や希望を描けない、誰も望まないこの国の未来を、根本から変えようよというのが『選挙』です。

怒ろう！武器でなく教育に予算を！安心して暮らして行ける社会を！ともに創りましょう
社民党宝塚市議会議員 大島淡紅子

新年あけましておめでとうございます。

私は、今春の統一自治体議員選挙で5期目のチャレンジをさせていただきます。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年はロシア軍によるウクライナ侵攻が勃発いたしました。いかなる武力による攻撃は断じて許されるものではありません。戦争こそ最大の人権侵害です。世界から戦争が無くなり、一日も早く平和が訪れるよう願うばかりです。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で制限される世の中ではありますが、「平和と人権」を基軸にまい進する決意です。2023年もよろしくお願いいたします。



貝塚市議会議員 南野けいすけ



もうすぐ統一地方選 次の4年を考え少しでも真っ当な政治家を増やす

今、大阪府と大阪市は、維新が牛耳るデタラメ政治により、コロナによる死者数は全国ワースト、経済成長率も国内大都市圏で低調という状況に。さらに、物価高騰により、ハコモノ事業が府の財政負担を大きく占めるために、福祉や教育に十分な予算がつかない状況です。

昨春には、府民一体となって取り組んだ湾岸部のIR事業に対する住民投票を求める署名活動も成功しましたが、議会では議論されることなく一瞬で否決。その勢いを統一地方選へ持っていくことも叶いませんでした。

さらに、マスコミはバラエティ化が進み、地方局において、夕方のニュースはまともな報道機関として機能せず、吉村知事礼賛の影響で、何度となくコロナ対策に失敗しようと府民は維新政治の腐敗に気付けません。

大阪の自治体議員として、自分の足元の暮らしを守る議員活動と共に、来春が統一地方選にあたらないうえ、維新政治と対峙できる議員を増やしたい。ひとりでも多く、応援する議員の当選へ大阪中を駆け回り、尽力いたします。皆様も真っ当な政治を取り戻す活動にご協力下さい。

摂津市議会議員 にしたに知美



あけましておめでとうございます。

昨年は、プーチン大統領がウクライナを侵略開始、北朝鮮がミサイルを頻繁に発射し、核先制使用の法令を採択、中国で習近平総書記が3期目の政権発足と台湾有事も現実味が、と考えると、改めて世界の平和と公平をすべての人に。

安倍元総理が凶弾に倒れ死去。暴力による支配には徹底的に戦わなければならないと実感する。

大阪府・市はIRカジノの整備計画を国に認定申請を提出。

私達は「NO大阪IR・カジノ」を設立し問題点を指摘しています。試算における経済効果は見込めない。当初計画からは程遠いショボイものになっている。どこまで公費負担をするのか。住民合意を得たものになっていない。等々。大阪の成長をIRカジノに託すのではなく、大阪の豊かな歴史と文化的資源を生かしたまちづくりを進めましょう。

さて、今年は統一地方選挙の年です。

IRカジノも選挙で変えられる。八尾市もコロナ禍で傷んだ地域コミュニティの再生。子供達に夢ある街。誰も取り残さない人にやさしい八尾の街を目指します。

ご支援、ご鞭撻をよろしく願います。

リアルオーサカ代表
前八尾市長 田中誠太

1990年、湾岸戦争が勃発した時、私は17才でした。学校からの帰り、日も暮れて、すっかり暗くなった帰り道、遠いイラクとクエートを思いながら、「私もいつか戦争で死ぬ日が来るのだろうか?」と考えたことを、最近よく思い出します。「憲法9条があるから、私たちは大丈夫だよ」、そうやって不安を打ち消してきたのに、今、その安心が政治によって土台から崩れようとしています。

多くの政党が、外交努力を放棄し、抑止力の幻想に溺れ、防衛費増額、敵基地攻撃能力の保有を掲げる中で、小さくとも社民党の役割は大きいと感じています。憲法改悪に断固反対し、不平等な日米地位協定を対等・平等な日米平和友好条約へと転換させ、平和外交で日本と東アジアの平和を実現するという方針を掲げ、ブレることなく取り組んでいきます。共に平和のために手を携え合いましょう。

社民党副党首 大椿ゆうこ



明けましておめでとうございます。運営委員の西川です。「なみはや」に大阪歴史探訪を書かせていただいています。いつも拙文をお読みいただきありがとうございます。

この数年はコロナ禍という事情もあり、十分なお手伝いができませんでした。一方で、ZOOMというツールによる新しいコミュニケーションの可能性も開けました。

さて「永続敗戦論」という書物に、「民主主義も、平和も、繁栄もすべて「戦後」にその起源をもち」とあります。民主主義、平和そして繁栄の危機が叫ばれる今、私たちは戦後ではなく戦前を生きているのかもしれない。

そんな時代にこそ、広範な国民連合の役割はあるような気がします。足を引っ張らないよう努めていきます。

広範な国民連合・大阪運営委員 西川厳穂

（編集後記）明けましておめでとうございます。歴史の転換点の激動の時代に突入しました。その激動は私たちに苦難をもたらすか、チャンスとするか正念場です。そのためにもしっかりと組織活動ができるようにしたいと思います。（S）